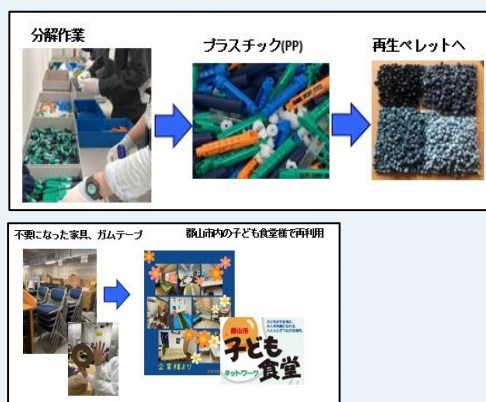
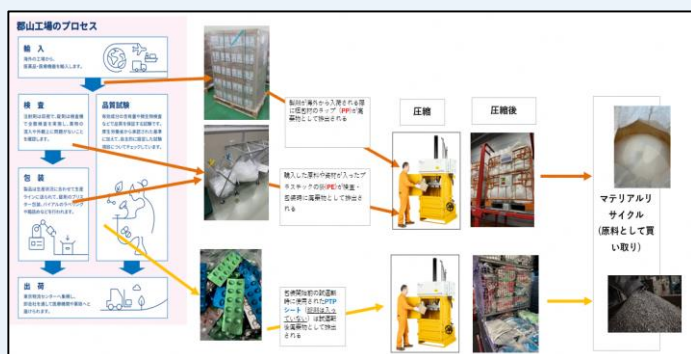




主な取組①

廃棄物は宝物、マテリアルリサイクル、再利用化

工場から排出される産業廃棄物の量の削減を図り、そしてその処分方法を見直し、焼却している廃棄物はサーマルリサイクルへ、サーマルリサイクルはマテリアルリサイクルへ、マテリアルリサイクルは再利用への移行を進めています。廃棄PTPシートはアルミペレットに、廃棄プラはプラスチックペレットにマテリアルリサイクルが実現しています。海外からの輸送に使用し役目を終えた木製パレットは、再利用される企業様に無償提供、もしくは再生パレット製造販売を行われている企業様に有価物として売却し、木製パレットの再利用を行っています。不要になった家具等は郡山市内の子ども食堂様や企業様に再利用して頂きました。また従業員が工場内で使用したシューズは、ケミカルリサイクルをしています。



主な取組②

再生可能エネルギーの利用の促進



2000年代より省エネルギー活動に取り組み、事業活動によるCO2の排出量削減に取り組んでいます。2013年よりグリーン電力証書システムに参加し2016年に電力の再生可能エネルギー化100%を達成、続いてグリーン熱証書の購入契約を締結し、2018年に郡山工場におけるCO2排出量ゼロを実現しました。

2020年7月にオンサイトPPA(*1)を活用し太陽光発電設備を導入、発電した電力を自家消費し環境負荷を低減しています。太陽光発電でカバーしきれない部分の電力はトラッキング付きFIT非化石証書を組み合わせた電力を使用し、郡山工場のオペレーションで使用されるエネルギーの100%再エネルギーを継続しています。

(*1) オンサイトPPA：発電事業者が、需要家の敷地内に太陽光発電設備を発電事業者の費用により設置し、所有・維持管理をした上で、発電設備から発電された電気、を需要家に供給する仕組み。(維持管理は需要家が行う場合もある)



会員と連携して取り組みたい課題

- ① 未使用廃棄物の再利用、再生化（自社で再生可能は不可だが、他の業界では利用できそうなマテリアル）
- ② 更なる再生可能エネルギー化、省エネ化

